

## 全日本少年アイスホッケー大会優勝報告



4月5日(水)、風越カップ全日本少年アイスホッケー大会で優勝した、栃木県選抜チームが優勝の報告に市役所を訪れました。この大会は3月26日(日)~29日(水)にかけて、長野県軽井沢町で開催され、全国から16チームが参加しました。栃木選抜チームは、20人のメンバーのうち19人が市内の小学生で、実質的に日光選抜です。予選リーグを1位で通過、決勝トーナメントでは、札幌選抜、苫小牧選抜といった北海道の強豪をやぶり、栄冠をつかみました。

## 春の交通安全県民総ぐるみ運動



4月6日(木)から15日(土)にかけて、子どもと高齢者の交通事故防止を重点項目に掲げ、県内一斉に行われました。市内では、6日の早朝から安全協会の会員や市の職員などが街頭に立ち、啓発物品を配布して交通安全を呼びかけました。

## 強飯式



す。強飯頂戴人や参列した人は、無病息災や家運長久などの運を授かるといわれています。式では修験者の姿をした強飯僧が、3升の飯が入った山盛りのお椀を強飯頂戴人に差し出し、「七十五杯一粒残さず食べろ」と責め立てます。江戸期には、徳川将軍家の名代や全国の名だたる大名たちが「藩の名誉」として頂戴人に名を連ねましたが、現在は信者の中から選ばれています。

4月2日(日)、日光山輪王寺で開催されました。奈良時代から伝わる伝統行事で、毎年同じ日に行われています。飯を食べるよう責め立てることから「日光責」とも呼ばれています。強飯式は山伏が行場の本尊からお供え物を持ち帰り、人々に分け与えたのが始まりとされています。

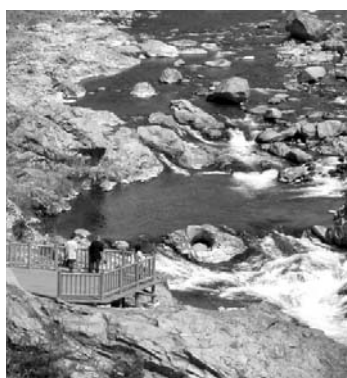


式に先立ち、伝統秘法による特別祈禱が行われました。

## 鬼怒川温泉河川遊歩道完成



これまで鬼怒川温泉には、河川に降りられる場所がなく、多くの方から「もつと近くで鬼怒川を見たい」という声が寄せられていました。このような意見を受けて、3月11日、鬼怒川温泉内に2つの河川遊歩道(くろ



がね橋遊歩道・大滝遊歩道)が完成しました。これは、地域再生事業の一環として、平成17年度に日本宝くじ協会の助成を受け、整備したものです。くろがね橋遊歩道は、くろがね橋右岸側のたもとから、大滝遊歩道は鬼怒岩橋左岸側のたもとから、それぞれ降りられます。これからの新緑の季節、河川遊歩道を歩いてみませんか。